

1899年(明治32年)

～著作権法で繋がるNEC創立とOSSライセンス

2016年7月29日
NEC OSS推進センター・締結準備

オープンソースカンファレンス
2016 Kyoto

NEC 日本電気 (株) は1899年7月17日に創立されました

NEC創設者・岩島邦彦 (いわたれくにひこ)



- 1857年福岡藩に生まれ。
- 工部大学校電業科 (現・東大工学部の前身の一つ) を卒業。
- 工部省に勤めた後、渡米し、エジソン・マシン・ワークス (現・GE社の前身の一つ) に入社。owner
- エジソンと共に働いた。数少ない日本人として知られています。
- 帰国後、大森電機 (現・関西電力の前身の一つ) 副社長を務めて。
- 1899年、42歳でウェスタン・エレクトリック社との合資会社「日本電気株式会社」を創業。
- 日本の外資系企業の代表者として、事業発展を牽引しました。

出典：NECの歩み <http://jp.nec.com/profile/corp/history.html#7>

日本が、ベルヌ条約に加盟したのも1899年(明治32年)

3月4日に旧著作権法を制定し
4月18日に加盟



R.M.Stallman氏が、「著作権法は、国家間で、契約法や他のありうる選択より、法律に過ぎない。」と述べた理由。

ベルヌ条約加盟国(1900年時点)
資料：著作権保護条約締結経緯
<http://www.ccopyright.or.jp/wa/kyougi.html>

主な特徴

内国民特権	外国人の著作物を保護する場合、締結の国に存在している保護と同等の保護を与えること。
採方式主義	著作権は著作物を作った時点で自動的に発生し保護されるとする原則。後付主義は認めないとの趣旨が強い。
譲渡禁止(モラル条約)	条約締結前に創作された著作物でも、保護期間内のものでは、条約が適用されること。
最低保護期間	死後50年

出典：<http://www.ccopyright.or.jp/wa/kyougi.html>

なぜ、NEC創立 とベルヌ条約加盟 が同じ年なの？

それは、7月17日が、日英/日米通商航海条約(通商条約)施行の日

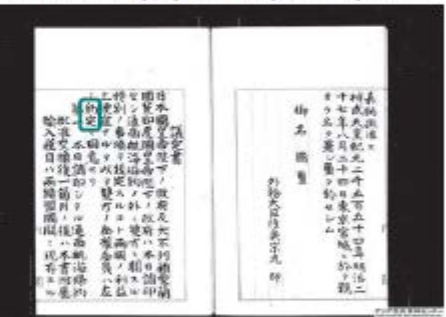
日英通商航海条約・・・？

- 1854年 日米和親条約 - バリーの黒船来航(1853,1854)
- 1858年 日米修好通商条約 - 井伊大老、不平等条約(?)
- なら知っているが・・・
- その不平等と罵られた領事裁判権と関税自主権の一部回復した
- 1894年7月16日、最初に、日英通商航海条約で刷印
- 副署名原本・明治二十七年・条約八月二十七日・帝國ト大不列顛國トノ通商航海条約
http://www.jstage.jst.go.jp/JDAI/1964/19640503_0311_0312/03110312031719640311

日英通商航海条約(1/3)-明治27年(1894年)7月16日 刷印



日英通商航海条約(2/3)-条約の他に(実施までの)「約定」



日英通商航海条約(3/3)-領事裁判権の廃止に先だち工業の所有権及権限の保護に関する列国同盟条約に加入すべきことを約束



日清戦争と日露戦争「坂の上の雲」の時代の出来事

日英/日米通商航海条約 施行の日 にNEC創立

その刷印時の約定の一つがベルヌ条約などへの加盟



Orchestrating a brighter world

NEC